

# 防災講座「避難生活を学ぶ」4回目

## 太陽の丘町内会便り

平成27年7月18日

菅山公民館 19時～

若杉正則

前回6月20日(土)のテーマは「避難する」でした。本来ならば本日のテーマは非常持ち出し品を持って避難地に避難して「避難地での避難生活をする」ですが、梅雨の最中でもあるのでこのテーマは来月としました。

### 本日のテーマ「HUG」「避難所運営ゲーム」

次第は

- 1、 オリエンテーション
- 2、 アイスブレイク  
炊き出しゲーム
- 3、 「HUG」ゲームを始めるに当たって
- 4、 ゲーム開始
- 5、 ゲーム終了 振り返り
- 6、 次回講座の説明 閉会

### HUGとは

H、U、G、は H (hinannjyo 避難所) U (unnei 運営) G (gamu ゲーム)

の頭文字をとったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。

避難者をやさしく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名づけました。

あなたが避難所の運営をしなければならない立場になった時、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すればよいのでしょうか。避難所HUGは、避難所運営を皆で考える為の一つのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、又避難所で起きる様々な出来事にどう対応してゆくかを模擬体験するゲームです。

プレイヤーはこのゲームを通して災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、又炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出し合ったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶ事が出来ます。

**実際の「避難所運営」は避難者自身で行うのが原則です。**

オリエンテーションで本日の次第と進行状況を説明した後、6名1チームのグループ分けを行いました。

## 2、アイスブレイクとして「炊き出しゲーム」を行いました。

「その時我が家にある2品を持参し、調理して暖かい食べ物をみんなで作り食べる」  
条件として「隣の人と相談しない」「非常食（そのまま食べられるものパン、お菓子、果物）は持参してはいけない」「数量は指定しない」

その結果

### 1、2丁目チームは

水、カップ麺、米、キュウリ、トマト、ジャガイモ、鍋、やかん、ガスコンロ、カセットコンロでした。

### 3、4丁目チームは

コメ、米、ナス、大豆、グリーンピース、油、飯盒、カセットコンロでした。

温かく食べられる物を作るには次の3つの品物（要件）が揃わなくてはできません。

Aグループ 水、食料（食材）（米、乾麺、野菜、肉、魚、）調味料（塩・醤油）等

Bグループ 調理器具（鍋・釜・食器・包丁・まな板、スプーン、はし、ざる、流し台、炊飯器）  
テーブル、いす等

Cグループ 熱源（ガスコンロ・ガスカートリッジ、まき、かまど等）  
電源（発電機、コンセント、ガソリン等）

各チームが持ち寄った品物で果たして温かい食べ物はできたでしょうか？

### 1、2丁目チーム

Aグループ 水、カップ麺、米、キュウリ、トマト、ジャガイモ

Bグループ 鍋、やかん

Cグループ カセットコンロ、ガスコンロ

結果 カップラーメンと茹でじゃがいもが出来ることとなった。キュウリとトマトは生で食べるとしても調味料として塩があるとよいと思うし、はしかスプーンが無くてはカップラーメンは食べられない。

### 3、4丁目チーム

Aグループ 米、ナス、大豆、グリーンピース、油

Bグループ 飯盒

Cグループ カセットコンロ

結果 肝心の水がないので焼きナスか、飯盒で米、大豆、グリーンピースを油でいためて食べる。はし、スプーン、小分けする食器がないのでどのようにして口に運ぶのか。

人が何人何十人集まったからと言って、何も相談しないまま品物を持ち寄った場合、満足な食べ物を作ることが出来ない。事前に打ち合わせをしていなければ、品物が片寄ったり必要なものが揃わないことになる。

例えば 炊き出しとして「カレーライス」を作ることとなった。4～5人分ならいつも主婦の方が一人で作っているので問題がないでしょうが、4～500人分になったらどうでしょうか。

水・食料（材）として（水・ジャガイモ・人参・玉ねぎ・豚肉・牛肉・鶏肉・カレールー・油  
・調味料等）米

調理器具・他として（鍋・電気釜・食器・包丁・まな板・しゃもじ・飯ベラ・皿・スプーン）  
ボール・ざる・洗い桶 テーブル・イス等

熱源・電源として ガスコンロ・ガスカートリッジ・発電機・ガソリン（タンク入り）  
まき・かまど

これら3つのグループが一緒になって初めて「カレーライス」が出来る。

「避難所運営」もこれと同じです。各品物はそれぞれの担当部署とってください。

### 3、HUG 避難所運営ゲームを始めるに当たって

カードには「避難者」カードと「イベント」カードがあります。

「避難者」カードには名前・年齢・性別・世帯構成・それぞれが抱えている事情、ペット・車等の有無が書かれています。

「イベント」カードには災害対策本部からの指示等が書かれています。

プレイヤーの皆さんで「避難者」の部屋割りや「イベント」の対応を話し合いで解決するのがベターですが時間を要してしまい限られた時間内で終わることが出来ません。カードを並べることに終始して、結果「避難所運営はたいへんだ」という感想だけが残ります。

「避難所」とはどのようなものか、「避難所運営」とはどうすればよいのか、どのような役割があるのか、役割分担はどうするのか、等理解した上でHUG避難所運営ゲームをする必要があります。

### 避難所運営マニュアル（静岡県防災局 発行）

#### 避難所の仕事（活動班）

- 総務班（避難所記録、地域との連携、その他）
- 被災者管理班（名簿管理、問合せへの対応、取材への対応、郵便物・宅配便の取次）
- 情報班（避難所内外情報の収集・発信伝達）
- 食糧・物資班（飲料水・食料・物資の調達、受け入れ、管理、配給）
- 施設管理班（危険個所への対応、防火、防犯）
- 保健・衛生班（ごみ、風呂、トイレ、掃除、衛生管理、医療・介護、生活用水の管理）
- 災害時時要援護者班（災害時時要援護者の支援）
- ボランティア班（ボランティアの受け入れ・管理）

以上の8班で構成されています。このままの構成でゲームを進める訳に行きません。そこで関連する班と担当を再構成して3班とします。

#### 避難所の仕事（活動班）

- 総務班（避難所記録、地域との連携、その他）
- 被災者管理班（名簿管理、問合せへの対応、取材への対応、郵便物・宅配便の取次）
- 情報班（避難所内外情報の収集・発信伝達）
- 食糧・物資班（飲料水・食料・物資の調達、受け入れ、管理、配給）
- 施設管理班（危険個所への対応、防火、防犯）
- 保健・衛生班（ごみ、風呂、トイレ、掃除、衛生管理、ペット、医療・介護、生活用水の管理）
- 災害時時要援護者班（災害時時要援護者の支援）

## ○ ボランティア班（ボランティアの受け入れ・管理）

再構成した3班は次のようになりました。

### ○総務班

避難所記録、地域との連携、問合せへの対応、取材への対応、郵便物・宅配便の取次、避難所内外情報の収集・発信・伝達、危険個所への対応、防火・防犯 ボランティアの受け入れ・管理、

### ○避難者班

被災者名簿の管理、医療、介護、災害時要援護者の支援

### ○生活支援班

飲料水、食料・物資の調達、受け入れ、管理、配給、ごみ、風呂、トイレ、掃除、衛生管理、生活用水の管理

ゲームを始めるに当たり 所長 班長 担当を決めて下さい。

●グループリーダーを決める——避難所 所長

●総務班——1名 ●避難者班——3名 生活支援班——1名

イベントへの対応——所長、総務班、避難者班、生活支援班（それぞれ用紙に記録する）

避難者への対応——所長、避難者班3名（それぞれ用紙に記録する）

避難者名簿をつける——1名

避難者を体育館・教室に案内する（付箋に名前・収容状況を記録）

駐車場・ペット・テント泊をグラウンド区分への案内（付箋に名前）

世帯は同一部屋に、ペットは原則屋外に、使えない部屋がある、トイレは使用禁止、

## 4、ゲーム開始

プレイヤーも避難者です。自己紹介を兼ねて各自の世帯構成、ペットの有無、災害弱者の有無、事情を紹介し合ってください。

グループリーダー 所長を決め、避難者班3名と役割分担、総務班、生活支援班各1名を決めて下さい。決まり次第避難者名簿に記入、各部屋への案内、ペット・車はグラウンドへ案内してください。

ゲーム開始です。

## 5、ゲーム終了

振り返り

●震災孤児の問題

●ペットの問題

●トイレ問題（後日講座でテーマとして設ける）

●避難所での問題点（後日講座でテーマとして設ける）

●震災孤児の問題について意見交換しました。

カードには「東南海ちゃん 女5歳、男3歳、両親を失った姉弟、近所の人に連れられてきた」

また別のカードでは「自助ちゃん 両親が死亡した3歳の男の子、近所の人に連れられてきた」更に別のカードでも「災対さん 両親が行方不明の小2（8歳）の男子、近所の人に連れられてきた。」と3枚のカードに4名の震災孤児がいます。皆さんはどのように対処したのでしょうか。

大半の意見は「体育館に収容して、子供連れの家族に見てもらおう」でした。

果たしてそれで解決できるのでしょうか。問題は「近所の人に連れられてきた」と云うことは「近所の人ももてあましていてくれること」、「避難所に連れてゆけば何とかしてくれる」と云うことです。

避難所内でも「家族の事だけで精一杯なのに他人の子供の世話までできるのでしょうか」

避難所を運営するに当たりこの様な事も考慮した体制を組む必要があると思います。人任せにせず保育を担当するスタッフを配置したり、親戚、身寄りを探すことや、児童養護施設に送るなり、日頃から行政、社協との連絡を密にして体制を整えて置く必要があると思います。

●ペットの問題について意見交換しました。

多くの家庭では家族同様にペットを飼っています。盲導犬や介助犬の世話になっている人もいます。避難所では「ペットは屋外で」が原則です。盲導犬や介助犬は「被災者と一緒」にでは家族同様に思っているペットが屋外では不満が出るのが当然です。解決する方法はないのでしょうか。避難所は人（被災者）だけが避難して来るだけでなく当然ペットも同伴して避難して来ることを考慮して事前の対策を講じておく必要があると思います。

## まとめとして

HUGゲームを体験したからと言って避難所運営が出来る訳ではありません。被災地では試行錯誤の上避難者全員で運営してきました。「避難所運営」を円滑に行うには日頃から役割分担、体制づくり、訓練を重ねる事です。その中で必要と思われる物を備えておくことです。

## 一番良い方法としては

「在宅避難」の勧めです。懇意にしている家族との共同生活です。そのためにはそれなりの備えが必要です。家屋の耐震化はもちろんの事、屋外でのテント生活の備え、1か月分の水、生活用水、食料の備え、トイレ計画、風呂・洗濯計画等周到な計画と準備が必要です。準備するだけでなく過酷な気象状況下においても避難生活ができる体験や訓練も必要となります。

1か月の間辛抱すれば道路事情、流通、電気、水道も改善してきます。仮設住宅やみなし仮設住宅への入居も可能となります。広域避難として被災地外に出ることもできます。

**要は「指定避難所に頼らない避難生活」を心掛け努力することです。**

## 次回講座の説明

8月15日（土） ○○時～16日（日）○○時まで

非常持ち出し品を持って避難 体験してみる。携帯トイレ持参 使用を体験してみる。

会場は菅山公民館（雨天を考慮して） 車での避難可 車中泊可

簡易テントの作り方教えます。（園芸用支柱、ビニールホース、ブルーシート、ひも）

閉会